

誕生

1927年

終戦

1945年 (18歳)

東京オリンピック

1964年 (37歳)

オイルショック

1973年 (46歳)

平成改元

1989年 (62歳)

阪神淡路大震災

1995年 (68歳)

逝去

2010年 (82歳)

誠心誠意の人

「まじめで厳しい人でした。亭主閑白で、娘に対しても躰にきびしく、もちろん職場である学校でも、怖い先生と評判でした」(長女 元)

「お酒が強く、毎晩日本酒を飲んでいました。ハンチングの帽子がトレードマークで、ポロシャツにズボンで通勤。Yシャツにネクタイ姿はあまり見たことがありませんでした」(妻 すえ)

「ガンが発見されてから半年で他界。本人の口から病名を問われることは一度もありませんでした。精神的に強く、痛いという言葉を一度も聞きませんでした」(妻 すえ)

振り返れば、夫の人生は多くの人と助け合い、励まし合い、気持ちをかち合ってきた。その心の風景は思い出が支えています。人生を豊かに、優しく育てくれた皆様に感謝申し上げます。

◆
そして平成二十二年二月十七日、梅見月の名の通り、あちこちで梅が咲き始めた季節に、八十二歳で大地へ帰って行きました。

本日はお見送りをいただきまして、誠にありがとうございました。夫 音馬もさぞかし喜んでいられることと存じます。直接拝眉の上、御礼申し上げます。でございますが、略儀ながら書状をもって厚く御礼申し上げます。

平成二十二年二月二十一日

神奈川県川崎市吉田町一―七

喪主 妻 荒木すえ

長女 荒木元

親戚代表 荒木虎工門

外 親戚一同

宗旨 真言宗

寺院 靈驗寺

